Kodak

PIXPRO FZ52

Digital Camera

取扱説明書

BC

警告

適合宣言

責任団体： JK Imaging Ltd.

住所： JK Imaging Ltd., 17239 South Main Street, Gardena, CA 90248, USA
JK Imaging Europe, 71 Clarendon road, Watford, WD17 1DS, UK

カメラに関する情報の提供： www.kodakpixpro.com

本マニュアルについて

コダックデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、コダックデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。

知っていると役に立つ情報を示します。

カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

著作権について

- 本製品で撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権の侵害よって生じたトラブルや損害などについては、一切その責任を負いません。

免責について

- 本製品の取扱説明書に従った取り扱いをしなかったことに起因して生じた損害については一切その責任を負いません。
- 万一、本製品及びカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害については一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを 目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は注意を促す内容を告げるものです。

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

⚠警告

⃠ 分解や改造をしないでください。感電したり、けがをするおそれがあります。

⃠ 落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れないでください。感電したり、ケガをする原因となります。

⃠ 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないでください。(防水カメラを除く)火災、感電の原因となります。

⚠ カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出してください。やけどや火災の原因になります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

⃠ 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

⃠ フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しないでください。視力障害の原因となります。

⚠ 幼児の手の届かないところに保管してください。メモリーカードや電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけてください。

⃠ 指定外の電源は使わないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意

⃠ ぬれた手でカメラを操作しないでください。感電の原因となります。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 長期間使用しないときは、電池を外して保管し手ください。電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。
- 航空機内で使うとき、離着陸時は電源をOFFにします。本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。
- 付属のCD－ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しない。機器に損傷を与えたり、ヘッドフォンなどを使用したときは、大音響により聴力障害の原因となります。

電池についてのご注意

危険

- 使用中に本体が過熱するときは、すぐにカメラの電源を切り、電池を取り出してください。充電中に電池が過熱するときは、電源を切り、電池を取り出してください。
- 電池を火の中に投下したり、加熱しないでください。液漏れ、破裂、火災の原因となります。
- 電池をショート、分解しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 専用の充電器を使用してください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しないでください。ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。
- 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。目に傷害を与える原因となります。

警告

- 水につけたり、端子部を濡らさないでください。液漏れ、発熱の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しないでください。破裂、発熱の原因となります。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。破裂、液漏れの原因となります。

⚠ 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意

⚠ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外してください。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 警告

⊘ 充電器を分解したり、修理や改造をしないでください。感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

⊘ 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でケガをする原因となります。

⚠ 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、やけどの原因となります。

⚠ 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ってください。火災の原因になります。

⊘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⊘ 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないでください。発熱、故障、火災の原因となります。

⚠ 注意

⊘ 濡れた手でさわらないでください。感電の原因になることがあります。

⊘ 充電器を布などで覆った状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。電源プラグを抜かないでおこなうと、感電、ケガの原因となることがあります。

⊘ メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。

⊘ ファームウェアの更新中に電池を抜いたり、カメラの電源をオフにしないでください。故障の原因となることがあります。

⊘ メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。

目次

警告 1

安全上の注意 3

目次 6

準備をする 10

付属品一覧 10
各部名称 11
電池を充電する 14
電池とメモリーカードの装填 15
電源をオン/オフに切り換える 17
液晶モニターに関するご注意 17
言語と日時の設定 18
言語設定 18
日時設定 18
言語を変更する場合 18
日時を変更する場合 19

モードを使用する 20

画面の切り替え表示 20
液晶モニター画面表示 21
静止画撮影モード表示 21
動画撮影モード表示 23
再生モード表示 24
画面の切り替え表示 24
モードボタンの使用 25
手動モード 26
自動モード 26
手ブレ補正 27
ポートレート 27
パノラマモード 28
シーンモード (SCN) 29
自動シーンモード (ASCN) 32

基本操作 34

ズーム機能を使用する 34

マクロモード 35
セルフタイマーモード 36
フラッシュモード..... 37
機能設定 38
露出補正 38
ISO感度..... 39
シャッター速度 39
動画撮影ショートカット..... 40

再生モード 41

静止画と動画を見る..... 41
サムネイルビュー..... 42
画像を拡大する（静止画専用） 43
スライドショー 44
画像を消去する方法..... 45

操作メニュー 46

静止画メニュー 46
測光方式..... 46
画像サイズの設定 47
コンティニュアス AF 47
連写..... 48
AFモード 49
ホワイトバランス 49
色彩..... 50
設定メニュー 52
画質の設定 52
AFアシストビーム..... 53
デジタルズーム 53
レビュー 54
日付写し込み 54
動画メニュー 55
測光方式..... 55
画像サイズの設定 56
色彩..... 56
動画設定メニュー..... 57

デジタルズーム 57
再生メニュー 58
HDR 58
赤目軽減 59
画像回転 59
画像サイズの変更（リサイズ） 60
色彩 60
再生設定メニュー 61
保護 61
消去 62
DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) 63
画像のトリミング 64
カメラ設定メニュー 65
操作音 66
省電力 66
言語設定 66
ワールドタイム 67
日時設定 67
ファイル・ソフトウェア 67
フォーマット 67
カードへコピーする 68
ファイル番号 68
リセット設定 69
FWバージョン 69

カメラ接続 70

PCに接続する 70
USBモードを設定する 70
PCにファイルを転送する 70
ビデオシステム 71
Eye-Fi SD カード接続モード 72
PictBridge互換プリンターに接続する 73
USBモードを設定する 73
カメラとプリンターを接続する 74
PictBridgeメニューを使用する 75

日付印刷 75
日付なし印刷 76
サムネイル画像を印刷する 77
DPOF画像の印刷 78
USBケーブルを取り消す 78

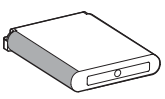
付録 79

仕様 79
エラーメッセージ 83
困ったときには 86

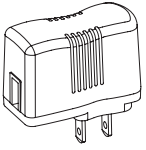
準備をする

付属品一覧

パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください (ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。



充電式リチウムイオン電池



AC アダプター

USBケーブル

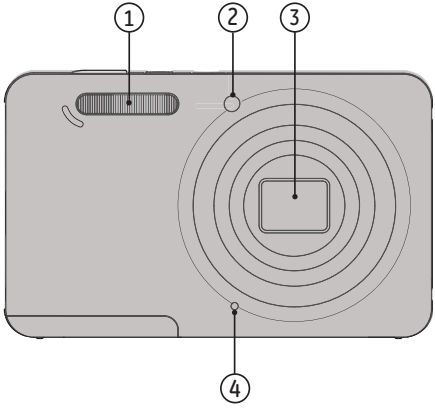
リストストラップ

かんたん操作ガイド

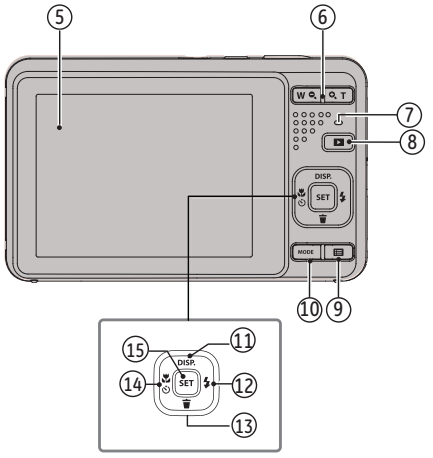
保証書

サービスカード

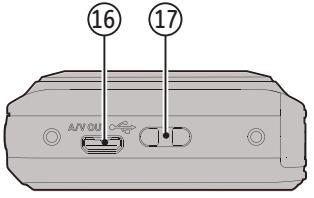
各部名称



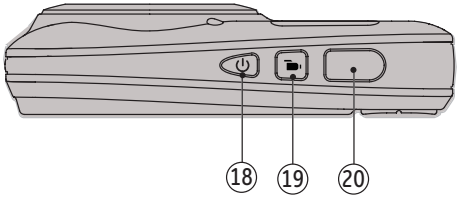
1. フラッシュ
2. AFアシストビーム/
   タイマーインジケーター
3. レンズ
4. マイク



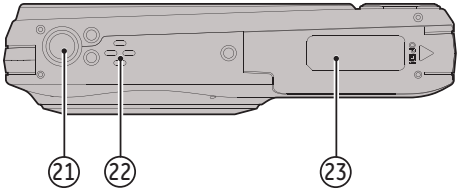
5. 液晶モニター
6. ズームボタン
7. 電源ランプ
8. 再生ボタン
9. Menu ボタン
10. MODE ボタン
11. DISP.ボタン/機能ボタン上
12. フラッシュモード/機能ボタン右
13. 消去/機能ボタン下
14. マクロモード/セルフタイマー/
    機能ボタン左
15. SET ボタン



16. USB/AV 端子
17. ストラップ取り付け部



18. 電源ボタン
19. 動画ボタン
20. シャッターボタン

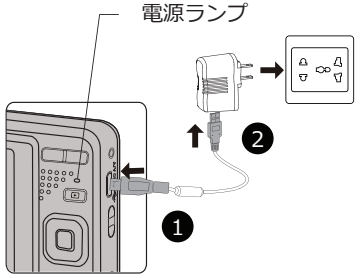


21. 三脚ねじ穴
22. スピーカー
23. 電池カバー

電池を充電する

電池を装填し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。

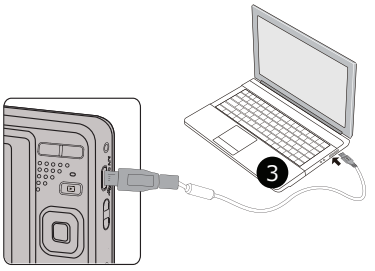


充電はカメラの電源をオフにして行ってください。

長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。

電源ランプ:
赤: 充電中
充電が完了するとカメラは自動的にパワーオフして電 源ランプは消灯します。電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は 4時間以上行ってください。

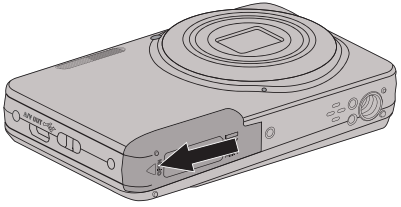
3. カメラの電源オフ後に、USBケーブルでカメラをPCに接続して充電することもできます。

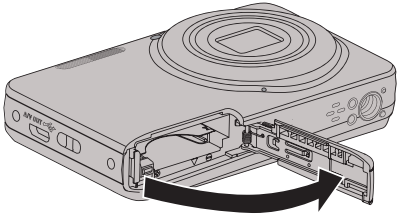


0℃～40℃の室内で電池を充電してください。

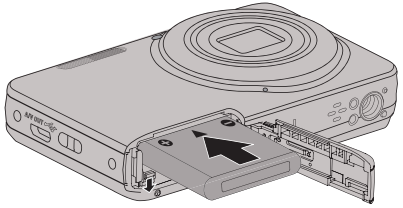
電池とメモリーカードの装填

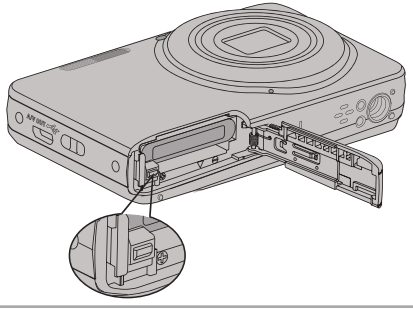
1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。



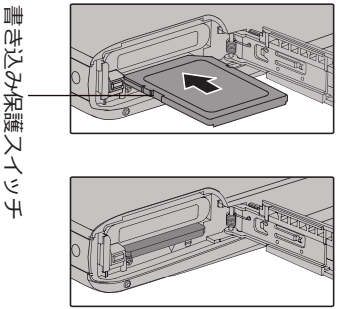


2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用してストッパーを矢印方向に逃がし、電池を正しく装填します。





3. 図に示すように、メモリーカードをメモリーカードスロットに装填します。

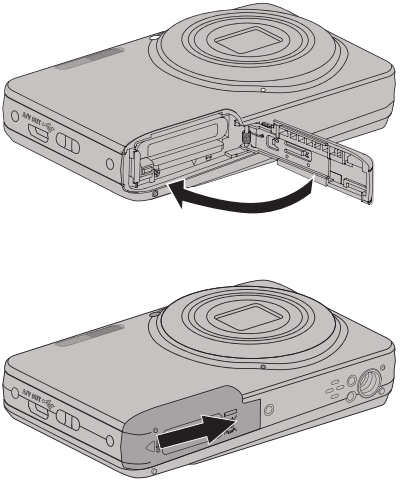


メモリーカード(SD/SDHC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから32GBまで使用可能です。

メモリーカードを取り外すには、電池カバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押しだされます。まっすぐ引き抜きます。

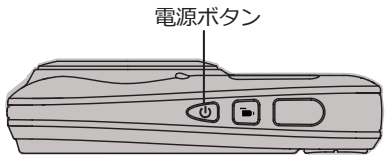
SDカードには書き込み保護スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にするとデータの書き込みや消去を禁止します。撮影時や画像を消去する時は「Lock」を解除してください。

4. 電池カバーを閉じます。



電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。



液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、20ページの「液晶モニター画面表示」を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターは高精度の技術で製造されていますが、きわめて小さな点 (黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。この現象は液晶モニターの特性であり故障ではありません。また、記録された写真に影響を与えることはありません。

液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を 15 分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

言語と日時の設定

言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

日時設定

1. 機能ボタン上/下を押して、「年月日」の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上/下を押して、値を合わせます。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

言語を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2. [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して [MENU] を選択し、(SET) ボタンをを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
4. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「Language/言語」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下を押して、Language/言語を選択します。
6. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

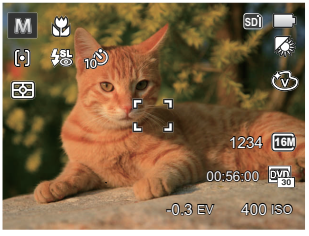
日時を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2. [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、[MENU] を選択し、 [SET] ボタンを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
4. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「日付/時刻」を選択し、 [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下、左/右を押して、値を変更します。
6. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

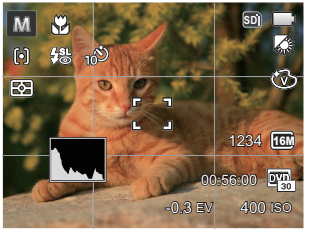
画面の切り替え表示

DISP. ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

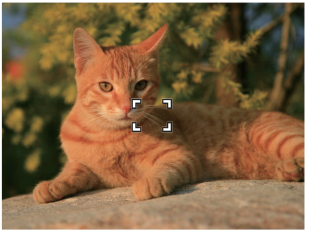
撮影モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



グリッドガイドとヒストグラムの表示

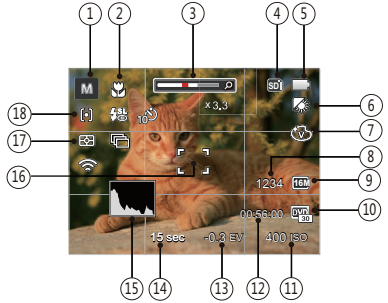


情報表示なし

液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示

撮影モードアイコン :



1 撮影モードアイコン

M	手動モード		ポートレート
	自動モード		パノラマモード
	手ブレ補正	SCN	シーンモード

2 マクロモード表示
3 ズームインジケーター
4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
5 電池残量表示
6 ホワイトバランス（ M モードでのみ使用可能）
7 色彩（ M モードでのみ使用可能）
8 撮影可能枚数
9 静止画画像サイズ
10 動画画像サイズ
11 ISO感度（ M モードでのみ使用可能）
12 動画撮影可能時間
13 露出補正（ M モードでのみ使用可能）
14 シャッター速度（ M モードでのみ使用可能）

15 ヒストグラム
16 AFフレーム
17 測光方式
- AiAE
- スポット
- 中央部重点

18 AFモード
- シングル AF
- マルチ AF

19 セルフタイマー表示
- オフ
- 2秒
- 10秒
- 笑顔

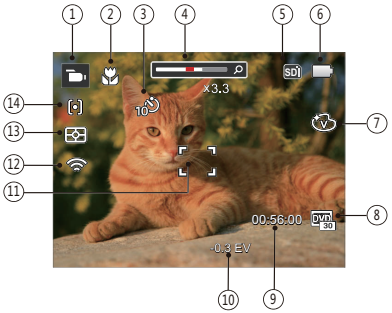
20 フラッシュモード表示
- 発光禁止
- 自動発光
- 強制発光
- スローシンクロ
- スローシンクロ+赤目軽減
- 赤目軽減

21 連写
- 一枚撮り
- 連写
- 3Xショット
- インターバル撮影（30秒/1分/5分/10分）

22 Eye-Fi 表示(送信)

動画撮影モード表示

撮影モードアイコン:



1 撮影モードアイコン
2 マクロモード表示
3 セルフタイマー表示
- オフ
- 10秒

4 ズームインジケーター
5 メモリーカード/内蔵メモリー表示
6 電池残量表示
7 色彩
8 動画画像サイズ
9 動画撮影可能時間
10 露出補正
11 AFフレーム
12 Eye-Fi 表示(送信)
13 測光方式
- AiAE
- スポット
- 中央部重点

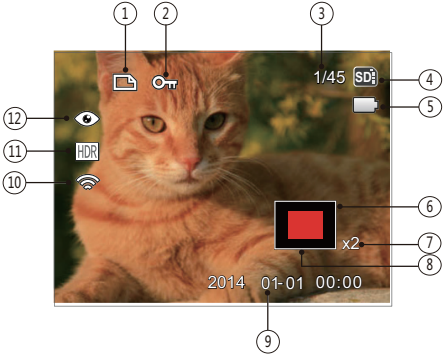
14 AFモード

動画の撮影には、Class 4 以上のSDHCカードの使用をお勧めします。

録画中はデジタルズームのみ使用することができます。録画開始前に光学ズームを使用することで30倍までズームすることができます。

再生モード表示

再生モードアイコン: ▶



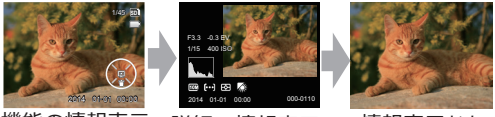
1 DPOF 印刷
2 保護
3 画像番号/総画像数
4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
5 電池残量表示
6 画面位置表示（案内マーク）
7 画像の倍率
8 縮小液晶モニター
9 撮影日時
10 Eye-Fi 表示(送信)
11 HDR
12 赤目軽減

画面の切り替え表示

disp.ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード ▶

再生モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示　詳細の情報表示　情報表示なし

モードボタンの使用

カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについて、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
手動モード		このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます。
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。
手ブレ補正		手ぶれによるボケを軽減します
ポートレート		人物の顔を明るくきれいに撮影できます。
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします。
シーンモード		21種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。

手動モード M

撮影目的に合わせて絞り値とシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、M を選択し、 SET ボタンを押します。

2. SET ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
4. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
5. SET ボタンを押して、設定を確定します。

自動モード

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

1. カメラの電源ボタンを押します。
2. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、 SET ボタンを押します。
3. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
4. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

手ブレ補正

手ブレ補正は、低輝度またはシャッタースピードが低速のときに発生する手ブレの影響を軽減します。

手ブレ補正は暗い場所、またはスローシャッタースピードで撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

ポートレート

このモードは、人物の撮影にもっとも適しています。人物の肌色、やわらかさを自然に表現できます。

MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、 SET ボタンを押します。

パノラマモード

パノラマモードでは、連続に撮影した画像をつなぎ合わせて、パノラマ写真を合成します。

1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、 SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで2秒経過すると、左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押し、フォーカス後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、半透明画像が画面の端に表示されます。端を重ねることで二枚目を撮影できます。この手順を繰り返して撮影します。

4. 4枚の撮影が終了すると、カメラは自動的に写真を合成します。
5. 4枚以下でも SET ボタンを押すことでパノラマ合成できます。

撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。
又、フォーカスは最初の1枚の設定が固定されます。

パノラマ写真撮影中消去/機能ボタン下を押せば保存せずに取り消すことができます。

シーンモード (SCN)

シーンモードでは、状況に合わせて合計21種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、 SET ボタンを押して、画面にはシーンモードメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

シーン	説明
自動シーンモード	自動的にシーンを識別し、人物、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します（三脚の使用を推奨します）。
夜景	夜景の撮影に適しています（三脚の使用を推奨します）。
雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現できます。
子供	子供の目を保護するため、フラッシュの発光を禁止にします。
IDカード	証明写真を印刷するのに適しています。(6インチ×4インチ=10.2cm×15.2cm）の印画紙を用いて印刷することをお勧めします。
ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影することができます。
フォトフレーム	12種類のフォトフレームを選択することができます。

シーン	説明
流し撮り	流し撮りの撮影に適しています。
資料	白地の印刷物などの文字を鮮明に写すことができます。
魚眼	魚眼効果を強調した写真を撮影することができます。
パーティー	室内のパーティー会場で、照明の効果を生かした撮影に適しています。
室内	室内撮影に適しています。背景や周辺を鮮明にします。
植物	植物を撮影する際、緑色を鮮やかに表現することができます。
博物館	フラッシュが禁止されている場所でも明るく写すことができます。
夜景ポートレート	夜景を背景にした人物撮影に適しています。
スケッチ	鉛筆で滑らかに描いたような効果のある写真が撮れます。

自動シーンモード (ASCN)

ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

アイコン	モード名	アイコン	モード名
	風景		夜景
	ポートレート		マクロ
	夜景ポートレート		自動
	逆光のポートレート		

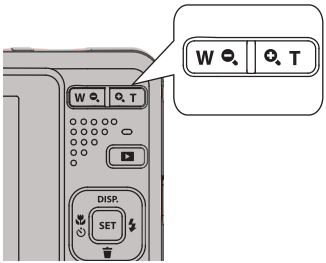
1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、 SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、 ASCN を選択します。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。
4. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
5. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体の中央にピントを合わせます。
6. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

モード名	説明
風景	背景の露出が最適になるように撮影します。
ポートレート	人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
夜景ポートレート	人物と背景の明るさを最適になるように撮影します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、人物が暗くならないように撮影します。
夜景	ISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
マクロ	近い被写体に自動的にピントを合わせます。
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ背面部のズームボタンを押して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。



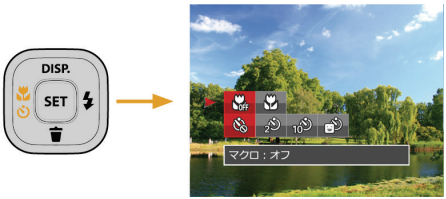
ーズームインジケーター（57頁のデジタルズームを参照してください）。

デジタルズームがオンに設定されている時は、光学ズームが最大値の5倍に達すると停止します。一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に押すと自動的にデジタルズームに切り替わります。

マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1. ボタンを押して、マクロモード機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のメニューから選択することができます。

- マクロ：オフ
  マクロ機能をオフにします。
- マクロ：オン
  マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. ボタンを押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

- セルフタイマー：オフ
  セルフタイマー機能をオフにします。
- セルフタイマー：2秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
- セルフタイマー：10秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
- セルフタイマー：笑顔
  笑顔を検出するとシャッターが切れます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1. ボタンを押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、6種類のメニューから選択することができます。

- 発光禁止
  あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
- 自動発光
  カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- スローシンクロ＋赤目軽減
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
- 赤目軽減
  予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

機能設定

各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

1. (SET) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2 機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、値を設定します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します（露出補正の設定はカメラが M、 モードに入っているときのみ使用できます）。

露出値の調整可能範囲は、EV-2.0からEV+2.0です。

動画モードでも露出補正を調整することができます。

ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります（ISO感度の設定はカメラが、 M モードに入っているときのみ使用できます）。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

ISO感度の調整可能範囲は、自動、80、100、200、400、 800、1600です。

シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます（シャッター速度の設定はカメラが、 M モードに入っているときのみ使用できます）。

シャッター速度の調整可能範囲は、最長30秒です。

動画撮影ショートカット

動画ボタン を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。

動画撮影を終了するには、動画ボタン あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

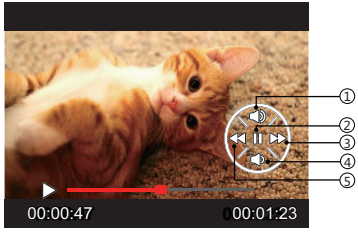
再生モード

静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、[▶] ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、[SET] ボタンを押して動画再生モードに入ります。

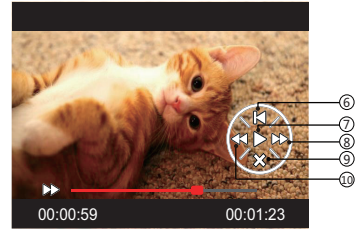
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と [SET] ボタンを押して、操作機能の変更ができます。



下記に操作機能を表示してあります。

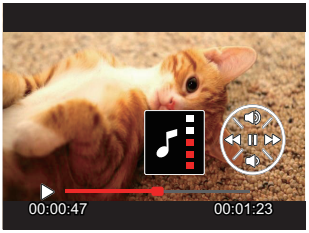
1 音量を上げる
2 一時停止
3 早送り
4 音量を下げる
5 巻き戻し

下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。



6 最初のコマに戻る
7 再生の再開
8 早送り
9 再生取消
10 巻き戻し

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、 が表示されます。



下記に操作機能を表示してあります。

1.音量を上げる

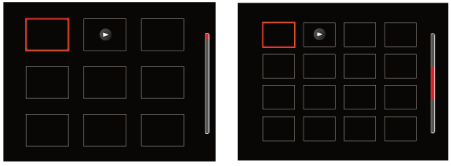
2.音量を下げる

サムネイルビュー

再生モードでズームボタンを **W** 側に押すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

W縮小側 **T**拡大側

1. ズームボタンをW側に押すと、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示されます。さらに押すと、4x4（16コマ）のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。 SET ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。



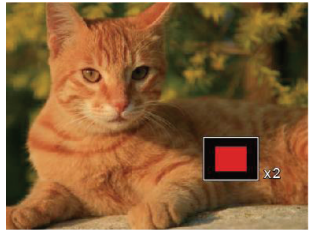
液晶モニターに ▷ のアイコンが表示されるときは動画画像です。

サムネイル画像を選択した後、SET ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

画像を拡大する（静止画専用）

ズームボタンは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームボタン T 側を押して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率（2.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。機能ボタン上/下、左/右を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、SET ボタンを押します。またズームボタンW側を繰り返し押しても画像を縮小できます。



動画は拡大できません。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで [▶] ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには (SET) ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。

- 効果1：間隔1秒
- 効果2：間隔1秒
- 効果3：間隔1秒

4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下（ ）を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. [ ] ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下( )を押すと消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚消去」または「戻る」を選択し、 [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

すべての画像を一括消去する方法は62ページをごらんください。

静止画メニュー

撮影モードアイコン:

撮影モードで [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

変更するセットアップメニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、素早く切り換えることができます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

16M： 超高品質印刷
14M： 高品質印刷
12M： フルサイズ印刷
10M： A3ノビサイズ印刷
5M： A4印刷
3M： A4以下印刷
2M： A5印刷
0.3M：電子メール

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。 記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

コンティニュアス AF

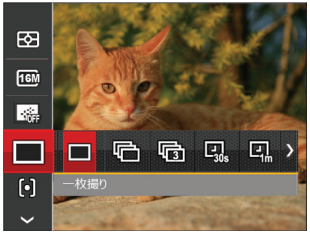
コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。

2種類のメニューから選択することができます。

- コンティニュアスAF：オフ
- コンティニュアスAF：オン

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。
シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。



7種類のメニューから選択することができます:

- 一枚撮り
- 連写
- 3Xショット
- インターバル撮影 30秒
- インターバル撮影 1分
- インターバル撮影 5分
- インターバル撮影 10分

連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

シャッターボタンを全押ししている間、連写を行ないます。

AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。

2種類のメニューから選択することができます。

- シングル AF
  AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
- マルチ AF
  カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します(WB設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます)。

7種類のメニューから選択することができます。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 手動
  - 調整する
    シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます

4種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

• 撮影モードでの各メニュー (o：選択できる x：選択できない)

メニュー	撮影モード						
	M						SCN
	o	o	o	o	o	x	o
16M	o	o	x	o	o	x	o
OFF	o	o	x	o	x	x	x
	o	o	x	o	x	x	x
	o	o	x	x	x	x	x
AUTO WB	o	x	x	x	x	x	x
	o	x	x	x	o	x	x
ASCN	x	x	x	x	x	x	o

設定メニュー

撮影モードアイコン：

1. 撮影モードで [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 [MENU] を選択し、 [SET] ボタンを押します。

2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。

3種類のメニューから選択することができます。

- 精細（16M 平均サイズ：4.0MB）
- 標準（16M 平均サイズ：2.5MB）
- 普通（16M 平均サイズ：2.0MB）

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

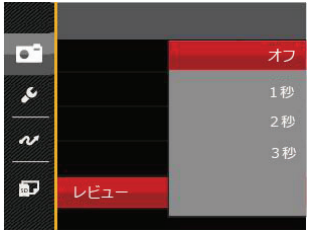
日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。



4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1 秒
- 2 秒
- 3 秒

動画メニュー

動画モードアイコン：

1. モードで [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。

高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	推奨	録画時間（4 GB）
1	1280x720 *	30	Class 6	約16分
2	1280x720	15	Class 6	約32分
3	640x480	30	Class 4	約48分
4	320x240	30	Class 4	約201分

* 動画で連続撮影できるのは1回につき29分までです。

高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます

4種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

動画設定メニュー

モード：

1. モードで [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 [SET] ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

デジタルズーム

デジタルズームをオンまたはオフにします。

再生メニュー

モード： ▶

1. 再生モードで [☰] ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. [SET] ボタンを押して、メニューに入ります。

4.機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、[SET] ボタンを押して、設定を確定します。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して編集する静止画を選択します。
2. [☰] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、[HDR] を選択し、[SET] ボタンを押して、メニューに入ります。
3. 機能ボタン左/右を押して、HDRを使用するかどうかを選択します。

✓ : HDR　✗ : 取消

4. HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

赤目軽減

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、人物画像の静止画を選択します。
2. [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューから [👁] を選択します。
3. [SET] ボタンを押し、赤目軽減あるいは取消を選択します。

✓：赤目軽減

✕：取消

4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

動画画像は赤目軽減ができません。

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像回転する静止画を選択します。
2. [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューから ↻ を選択します。
3. [SET] ボタンを押し、「右回転」、「左回転」、「取消」を選択します。

↻：右回転　↺：左回転　✕：取消

4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができません。

画像サイズの変更（リサイズ）

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像のサイズ変更する静止画を選択します。
2. [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. [SET] ボタンを押し、「1024X768」、「640X480」、「取消」を選択します。

4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

パノラマ画像は、サイズ変更できません。

色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、色彩変更する静止画を選択します。
2. [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. [SET] ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。

4. [SET] ボタンを押して設定を確定します。

：取消　：セピア色

：鮮明　：白黒

再生設定メニュー

モード: ▶

1. ▶ モードで [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 [SET] ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して「保護」を選択し、 [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、3種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚：　選択した画像を保護します。
   - すべて：　すべての画像を保護します。
   - リセット：すべての画像の保護を解除します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

消去

2種類のメニューから選択することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して、「消去」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、2種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚：　選択した画像を消去します。
   - すべて: すべての画像を消去します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚： プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて： すべての画像をプリント予約します。
- リセット： プリント予約を解除します。

印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. セットアップメニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、トリミングする静止画を選択し、機能ボタン上/下を押して、「はい」あるいは「戻る」を選択します。
3. 「はい」を選択して、(SET) ボタンを押します。
4. ズームボタンと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。

5. (SET) ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。 ✔ あるいは ✘ を選択して、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

カメラ設定メニュー

モード:

すべてのモードで [MENU] ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、[MENU] を選択し、(SET) ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、[wrench] を選択します。

1. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下あるいは左/右を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

操作音

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音の大きさを調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. 設定メニューから操作音を選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューから、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
   - オフ
   - 音量小
   - 音量中
   - 音量大

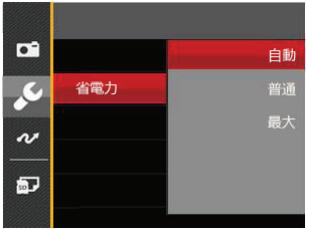
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

音量を変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。

1. 設定メニューから省電力を選択します。
2. サブメニューには「自動」、「普通」、「最大」が表示されます。



3. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

言語設定

18ページの「言語を変更する場合」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。海外にいる間、日時設定を変更しなくても、現地時間を写真に記録することができます。

1. 設定メニューからワールドタイムを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 SET ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

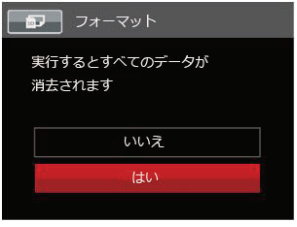
19ページの「日時を変更する場合」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

1. タンを押し、機能ボタン上/下を押して を選択し、SET ボタンを押してメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押して を選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して「フォーマット」を選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
4. 機能ボタン上/下を押して「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。



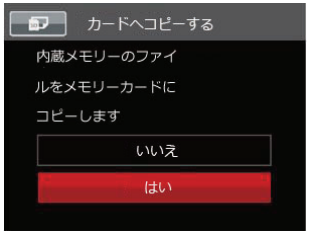
5. 「はい」を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。

新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. 設定メニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

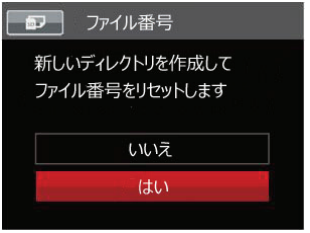


カメラにメモリーカードを装填しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

ファイル番号

この設定により、新しいフォルダを作成して画像番号を1から記録することができます。画像ファイルが9999を超えフォルダが999を超えた場合に「メモリーカードに残量がありません。新しいカードに交換してください。」と警告が表示されます）。

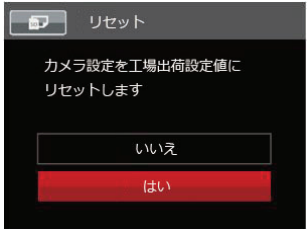
1. 設定メニューからファイル番号を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。



リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

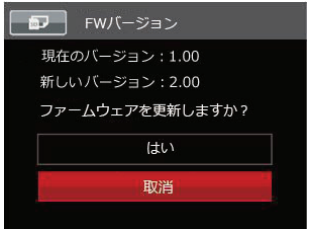
1. 設定メニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。



FWバージョン

現在のカメラのファームウェアバージョンの表示またはFW更新をすることができます。

1. 設定メニューからFWバージョンを選択します。



2. 新しいバージョンのファームウェアがSDカード内に保存されている場合にファームウエア更新の確認画面が表示されます。
3. 画面に新ファームウェアバージョンが表示されたときは、「はい」または「取消」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

カメラ接続

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

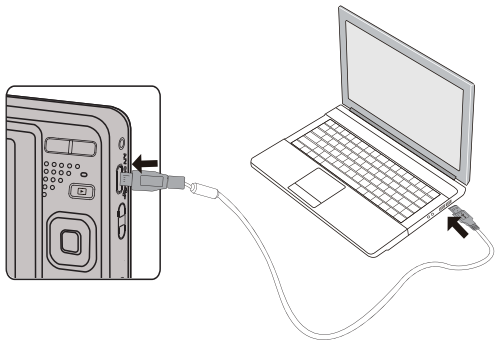
1. [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、[SET] ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、[SET] ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、カメラ内のフォルダやファイルをPCにコピーすることができます。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



ビデオシステム

AVケーブル (別売品　Micro USB-AVタイプをお買い求めください) を使用して、ビデオ/テレビに接続します。(詳細に付いては、ビデオ/テレビの説明書を参照してください)

1. [▤] ボタンを押し、機能ボタン上/下で、 ▤ を選択し、 [SET] ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 〜 を選択し、 [SET] ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、ビデオシステムを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

NTSC: 英語、中国語繁体、日本語、フランス語、韓国語、ロシア語、ベトナム語、ギリシア語、ハンガリー語

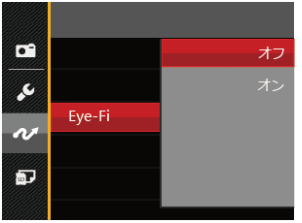
PAL: ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語簡体、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、フィンランド語、インドネシア語、ノルウェー語、オランダ語、トルコ語、ポーランド語、ドイツ語、クロアチア語、チェコ語、アラビア語、ヒンディー語

カメラの言語設定により、ビデオ出力信号「NTSC」あるいは「PAL」は、自動的に設定されます。

Eye-Fi SD カード接続モード

このカメラは、Eye - FiSDカードの無線接続をサポートしています。次の手順でEye - Fi SDカードと接続することができます。

1. [MENU] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、[MENU] を選択し、[SET] ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、[SET] ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、Eye-Fiを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「オフ」あるいは「オン」を選択します。



使用する前に、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みください。

Eye-Fiカードを海外で使用する場合、その国の法律にしたがってご使用ください。

使用を禁止されている場所（飛行機等）では、送信設定を「オフ」にしてください。

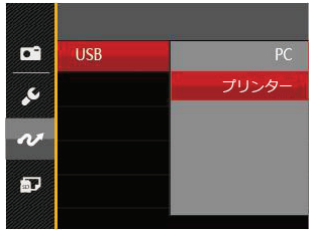
PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

1. [▤] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、▤ を選択し、[SET] ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、[SET] ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

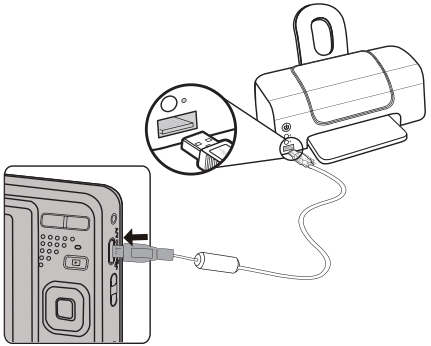


カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

PictBridgeメニューの設定は、75ページを参照してください。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り消す

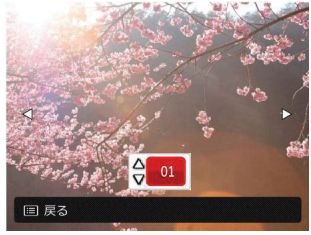
機能ボタン上/下を押して、PictBridgeメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから「日付印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

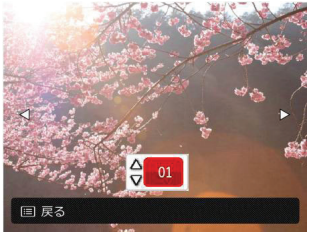
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (SET) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. メニューから「日付なし印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



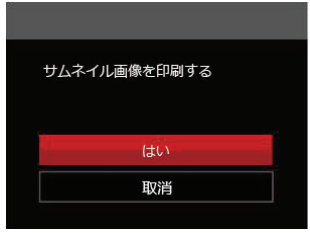
2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (SET) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。



2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（63ページのDPOFを参照してください）。

1. メニューから「DPOF画像を印刷します」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り消す

メニューを終了するには、「USBケーブルを取り消す」を選択します。「USB ケーブルを外してください」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

付録

仕様

外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

撮像素子	形式	1/2.3型CCD
	カメラ部有効画素数	1615万画素
	総画素数	1644万画素
レンズ	焦点距離	5.1～25.5mm
	35mmフィルム換算	28～140mm
	開放F値	F3.9～F6.3
	レンズ構成	8群 8枚
	光学ズーム	5倍
	撮影範囲	通常撮影 (W) 60cm～∞、(T) 100cm～∞ マクロ撮影 5cm～∞(Wのみ)
オートフォーカスシステム		TTLオートフォーカス
手ブレ補正		デジタル式手ブレ軽減
デジタルズーム		6倍（光学5倍と併用して最大30倍）

記録画素数（画像サイズ）	静止画	(4:3) 16MP: 4608×3456 10MP:3648×2736 5MP: 2592×1944 3MP: 2048×1536 0.3MP: 640×480	(3:2) 14MP: 4608×3072	(16:9) 12MP: 4608×2592 2MP: 1920×1080
	動画	1280×720(30/15fps)、640×480(30fps)、320×240(30fps)		
画質		精細、標準、普通		
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○		
ファイル形式	静止画	Exif 2.3 (JPEG)		
	動画	画像圧縮：MOV (Motion JPEG)、音声：G.711 [Monaural]		
撮影モード		手動モード、自動モード、手ブレ補正、ポートレート、動画モード、パノラマモード、シーンモード		
シーンモード		自動シーンモード、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、資料、魚眼、パーティー、室内、植物、博物館、夜景ポートレート、スケッチ		
検出機能		顔、笑顔、まばたき		

赤目軽減	○
HDR	○(後処理)
パノラマ	最大180°（水平）
液晶モニター	2.7インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度	自動, ISO 80/100/200/400/800/1600
AF方式	シングルAF、マルチAF, (TTL 9ポイント)、顔検出
測光方式	AiAE、スポット、中央部重点、顔AE
露出制御方式	プログラムAE（AEロック可能）
露出補正	±2 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4～1/2000秒（手動30秒）
連写	○
再生モード	静止画、サムネイル（9/16）、スライドショー、ズーム (約 2倍～8倍)、動画
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、手動

フラッシュ	フラッシュ方式	内蔵
	フラッシュモード	発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ スローシンクロ+赤目軽減/赤目軽減
記録メディア		内蔵メモリー: 8 MB
		SDカード/SDHCカード(32GBまでサポート) [MMC カードサポートなし]
PictBridge、Exif印刷サポート		○
多言語のサポート		27言語
入出力端子		AV-OUT/USB 2.0 (Micro 5 pin USB)
Eye - Fi サポート		○
電源		充電式 Li-ion電池 LB-012, 3.7V 700mAh、（本体装填で充電可）
撮影枚数 (電池寿命)		約 200 ショット （CIPA標準に基づく）
動作環境		温度 : 0～40℃ 湿度 : 90%以下 (結露しないこと)
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)		約 91.5×56.5×22.6mm
質量		約 106g (本体のみ)

エラーメッセージ

メッセージ	説明	リセット方法
警告! バッテリー残量がなくなりました	カメラのバッテリーがなくなり ました。カメラがシャットダウンすることを示す警告です。	バッテリーを充電してください。
レンズエラー、カメラを再起動してください	レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。	カメラの電源をオフし、再起動してください。
三脚の使用をお勧めします	シーンモードの中で長いシャッタースピードまで使用するモード(花火モード、夕日モード、夜景モードなど)を選択すると表示されます。	撮影する前に三脚等でカメラを固定してください。
バッテリーが過熱しています	電池温度が53.5℃に達すると、表示されます。	2秒後、自動的に電源はオフになり、温度が下がった後、使用することができます。
内蔵メモリーエラー	内蔵メモリーにエラーが発生しました。	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
警告! 更新中はカメラの電源を切らないでください	ファームウェアを更新するときに表示されます。	ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。
接続に失敗しました	PC、プリンター、テレビ（ビデオ）への接続が失敗しました。	USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。

メッセージ	説明	リセット方法
充電した後再更新します	電池残量が不足して、ファームウェアの更新ができない警告です。	充電後に更新を行ってください。更新画面に戻ります。
書込み保護	メモリーカードが書き込み保護さ れています。ＳＤカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。	メモリーカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。
メモリーカードの残量がありません	メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
内蔵メモリーの残量がありません	内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
カードエラーです	・ メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。 ・ SDXCメモリーカードが装填されています。	新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが装填されているか、PCなどでフォーマットされたSDカードが装填されています。	メモーリーカードをフォーマットしてください。
SDカードに書き込むことができません	撮影した画像をSDカードに保存できません。	SDカードを交換します。
SDHC メモリーカード（クラス4以上）をおすすめします	HD動画の録画に、Class4以前のSDカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。	SDカードはClass4以上のものを使用してください。

メッセージ	説明	リセット方法
赤目現象はありません	赤目の現象は、画像から検出されません。	表示は 2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。
この画像は編集できません	このファイルフォーマットでは編集できません。一度編集した画像は再度編集できません。	ほかの写真を選択してください。
フォルダー番号が最大値になっています	SDカードのフォルダー番号が最大値（999）に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。	資料をパソコンにコピーし、保存してください。カメラで、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像が多すぎて処理できません	日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました。	不要な画像を削除することで、表示できる場合があります。
ファイルを認識できません	画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。	他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。	表示は 2秒後に消え、撮影画面に戻ります。
保護されています! 消去できません!	画像は保護されています。消去する前に、保護を解除してください。	消去する前に、保護を解除してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	■ 電池切れです。 ■ 電池が正しく装填されていません。	■ 新しい電池に交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 ■ 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装填します。
操作中にカメラが突然オフになる。	■ 電池切れです。	■ 新しい電池に交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	■ レンズが汚れています。 ■ 手ブレ、被写体ブレになっています。	■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 ■ DIS 手ブレ軽減を有効します。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	■ メモリーカードの残量がありません。	■ メモリーカードを新しいものと交換してください。 ■ 不要な画像を消去してください。 ■ メモリーカードのロックを解除してください。
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	■ メモリーカードの残量がありません。 ■ ファイルを保存する空き容量がありません。 ■ 再生モードになっています。	■ メモリーカードを新しいものと交換してください。 ■ 不要な画像を消去してください。 ■ メモリーカードがロックされています。 ■ モードボタンを押して、 に合わせます。

問題	考えられる原因	解決法
接続したプリンターから画像を印刷できない。	■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。 ■ プリンターがPictBridge互換でありません。 ■ プリンターが用紙またはインク切れです。 ■ 用紙詰まりです。	■ カメラとプリンターの接続を確認してください。 ■ PictBridge互換プリンターを使用してください。 ■ プリンターに用紙を補給してください。 ■ プリンターのインクカートリッジを交換してください。 ■ 詰まっている用紙を取り除いてください。
メモリーカードの書き込み速度が遅い。	■ クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	■ クラス4以上のSDカードを使用してください。
メモリーカードに書き込むことができません。	■ メモリーカードが書き込み保護されています。 ■ 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。	■ カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。 ■ ハイクラスのメモリーカード（Class 6以上）に切り替えてください。

コダックの商標およびトレードドレスは、コダックのライセンスに基づき使用されます。

© 2014 by JK Imaging Ltd. All Rights Reserved.

JK Imaging Ltd., 17239 South Main Street, Gardena, CA 90248, USA

JK Imaging Europe, 71 Clarendon road, Watford, WD17 1DS, UK

www.kodakpixpro.com